

ケアマンシヨニ聖愛ホーム

ケアマンシヨニ聖愛ホームは「ケアハウス」という公的な高齢者福祉施設で、現在50名の方が入居されております。

聖愛ホームでは入居者の自立した生活を尊重し、自由で明るく健康的な生活の場を提供しております。様々なクラブ活動や行事を行っており、最近では入居者の方々の企画によるクラブ活動が創部されたり、主体的に充実した生活を楽しまれています。食事に関しては1日3食提供させていただいており、管理栄養士や厨房スタッフにより献立を検討し、聖愛ホームの畑で収穫された季節の野菜等をメニューに取り入れ、皆さんと美味しくいただいております。野菜作りや畑の手入れも入居者の方が主体となって管理して下さっています。



(コーラスの行事風景)

クラブ活動や行事では地域の方々による協力を得ながら、入居者と共に楽しんでいただいております。また、毎月のホール作品展では地域の方々による絵画や写真等を展示しており、誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気作りを努めています。今後とも入居者の方々がいつまでも自分らしいと思える生活を送れるようにサポートしていきたいと思っております。



(スタッフです)

障害者生活支援センターエマオ

障害者生活支援センターエマオは、中津市からの委託を受け、障害のある方やそのご家族の相談支援事業を行っております。中津市教育福祉センター(中津市沖代町一丁目)内の福祉相談室で、資格を持った専門職が対応しております。

『障害年金や障害者手帳の取得をしたいけど、どうしても良いか分からない』『就労したいけど、一般就労は不安』『ヘルパーを利用したい』『障がいに関する情報が知りたい』『どこに相談したら良いか分からない』など、いろいろな相談に幅広く対応しております。相談は来所以外にも訪問・電話・FAX・電子メールなどでも受け付けています。公的な事業です。相談は無料で、個人情報も固く守ります。心にお悩みや不安を抱えた方の問題をほぐしていただく入口になりたいと思っております。お気軽にご相談ください。お待ちしております。



(業務風景)

電話 0979-126-1123
FAX 0979-126-11239



(スタッフです)



社会福祉士の活動について



地域包括支援センターいずみの園
主任 今吉日向子

「地域包括支援センターで働くということ」

「中津市地域包括支援センターいずみの園」は、地域の住民の保健・福祉・医療の向上、介護予防マネジメントなどを行う拠点です。ここでは主任ケアマネジャー・社会福祉士・看護師の3職種が業務を行っています。3職種はそれぞれの専門分野の仕事を行うだけでなく、お互いに連携をとりながら「チーム」として総合的に高齢者やそれを取り巻く家族を支え、自立した生活に向けて支援を行っています。

私が社会福祉士として包括支援センターに勤めて4ヶ月が経ちます。社会福祉士の役割としては虐待に関する相談や連絡に対応したり、成年後見制度の利用について等権利擁護の面からご利用者をサポートすることを主としています。実際にこのようなケースを担当したことはまだ少ないですが、支援するに当たってはご利用者本人のこれまでの生活歴や人間関係に深く関わっていくこととなります。

ご利用者、その家族も地域包括支援センターにご相談に来られるまでに様々な葛藤もあるかと思えます。そのような中であつて支援の手を伸ばされた方々に、誠実に寄り添いながらの支援が行えているのか日々自分を振り返りながら業務に当たることができています。



ボランティア紹介

〈第4回〉

人生の先輩と共に 過ごす一時



山川 百合子様

私は、両親を見送り、主人と共に「いずみの森」を終の住家として5年前に大阪の地より移り住みました。同じ事業団の特別養護老人ホームでの学習療法ボランティアとしては3年目を迎えるところです。

学習療法(くもん)は、やさしい学習による脳の活性化、認知症の予防を目的として6年前から始められ、現在は18名が参加されています。

朝8時半、「おはようございます。どうぞよろしくお願致します。」と穏やかで明るい笑顔が目飛び込み、「こちらこそどうぞよろしくお願致します。」のあいさつを交して学習療法は始められます。

参加者は、お一人で来られる方もいますが歩行器や車椅子で職員の付き添いを得て来られる方がほとんどです。

毎日、体調、気分も共に良い日ばかりではない中で、皆様に積極的に参加され、精一杯の努力を払う真剣な姿には頭が下がります。さらには一緒に勉強することを楽しんで、学習を終えると満面の笑顔になり、「楽しいなあ」と声を出したり、「今日は短かったね」と満足の笑顔に残念さが加わることもあります。前向きで余裕のある姿勢はさすがに人生の先輩です。



(ボランティアの様子)

こんな先輩と共に過ごす一時は、私の背筋もしっかりと伸ばされ、さわやかな気分が包まれるのです。加えて、学習療法担当者の「参加者の気持ちに添った流れ」をつくる手腕には心より敬服する思いです。又、これを支えている「いずみの園」に私も繋がっている安心感と幸せを感じています。

園内研修報告①

うつ病とメンタルヘルスケアについて

講師 心療クリニック済生堂
医師 橋本 眞子先生

5月21日(火) 18:30より「地域交流ホームいずみ館」にて、本年度第1回目の園内研修が行われました。

今回は、当園嘱託医師の橋本眞子先生(心療クリニック済生堂)により「うつ病とメンタルヘルスケアについて」と題し、一般的な医学用語をわかり易く、丁寧に説明して頂きました。



うつ病とは心のエネルギーが低下した状態だということ、予防を図るためにはメンタルヘルスケア【心の健康】が重要だと教えて頂きました。そのためには、①うつ病のサインにどう気づくのか②ストレスを引き起こす原因(性格等個人差、行動様式、体験自己評価などでここにくっつく)の解消のヒントがある③メンタルヘルスを職場でも維持し、ストレスに強くなる④そのため、ストレスを一人で抱え込まない。原因を整理し、解決のための情報を得、行動する。解決に向けて友達、上司、家族等からの社会的支援を受ける。⑤プラス思考に心がけ、発想の転換や人に伝えることが大事とお話がありました。最後に強調されたのが、人と人とのサポート体制が非常に大切なことや、睡眠はストレスを軽減する装置であること。加えて運動をし、栄養面にも気を付けることなど日々のライフスタイルの見直しポイントだと教えられました。また、ある時点では開き直ることも大切とのことでした。



私達の仕事は、心と体のケアです。介護する私達も健康でなければ仕事を続ける事ができません。今日の講義を聞いて、日々のライフスタイルや気分転換方法を見直し、心身共に健康でよりよいサービス提供が行える様に頑張りたいと思えました。

(研修委員会)

園内研修報告②

安心を創るーまちで働く・まちで暮らすー

講師 社会福祉法人シンフォニー
理事長 村上 和子先生

7月30日(火) 18:30より「地域交流ホームいずみ館」にて、本年度2回目の園内研修が行われ130名の職員が参加しました。

今回は、「社会福祉法人シンフォニー」の村上和子理事長により「安心を創るーまちで働く・まちで暮らすー」と題し、就労支援を通して障がい者(児)の地域での生活を支えるための取り組みについて講演いただきました。



講演の中で「4つの力」：①移動の力(自分で「通う」ことが社会人としての自信や生活圏の拡大につながる)、②食事の力(自力で食事を得る力)地域生活力が身につく、③消費の力(料金を支払って利用)社会経済活動への参加、暮らしの充実、④気配りの力(あいさつ、返事、社会人としての言葉づかい)を体験を通して自然な形で獲得していくこと、サービス利用など援助者のサポートも活用していくことを念頭に置いて事業を行っているとのこと。「こうしたことを利用者は、生き生きとしてくるという効果や次の成功のための力がついてくる」ということでした。

また「もうひとつの力」として、何もかも自分でできるわけではなく、人に頼る、困っていることを伝えるなど『会話』も地域で生活をしていくためには大切な力であるとお話を伺うことができました。



いずみの園では、今年4月より「ワークセンターシャローム」を開所し、障がいのある人に対する就労支援に取り組んでいます。

「生涯安心」が提供できるように、今回の研修を活かしていきたいと思えます。村上理事長、お忙しい中、ありがとうございました。

(研修委員会)

チャブレン通信



堤 健生

「主なる神は、土のちりいで人を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった」

旧約聖書創世記

紀元前千年頃の歴史家が記しました人の創造物語です。人は死ねば土葬されてやがて全ては土にかえっていきます、その姿をふまえて記しています。

この言葉には私達の心を打つものが2つあります。人は他の自然物と全く同じ土にすぎないという「はかなさ」と、土にすぎない人に外から命の息が吹き入れられて生きていく「与えられた尊いいのち」であるという事実です。

はかなさと尊さ、この2つを内に持つのが人なのだよと千年前の歴史家はいうのです。私達も毎年お盆の季節を過ぎすことに、このことを心に思うものです。

園内の花木を探索

いずみの園の敷地内にはたくさんのお花が植樹されています。この花木をシリーズで紹介いたします。

●ハナミズキ (花木)

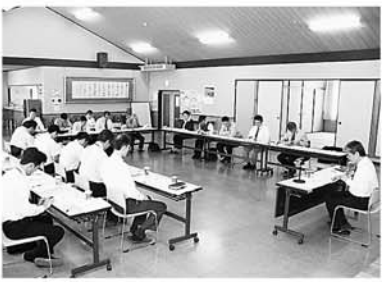
レストラン「ベエルシバ」(本号表紙)の前に4本のハナミズキの木があります。

ハナミズキはミズキ科の落葉高木で、北アメリカが原産です。名はミズキの仲間でお花が目立つことに由来するそうです。また、同属のヤマボウシに似ていることから、別名アメリカヤマボウシともいわれます。

春に花を付けますが、今年も4月にピンク色の花が咲き、レストランを利用される方の目を和ませました。



『中間管理職講座』始まる



(課長篇風景)



(主任篇風景)

いずみの園「新5か年プラン」の項目のひとつである事業団組織・機構改革の中に「中間管理職の育成」があり、また2013年度の重点事項のひとつに「管理職の育成研修の実施」が挙げられています。4月より16名の課長を対象に「みんなで学ぶ中間管理職講座Ⅰ(課長篇)」が5月16日から全10回の予定で始まりました。

また、30名の主任を対象に「役に立つ中間管理職講座Ⅱ(主任篇)」も7月18日から、全8回の予定で始まりました。(今後、追加で4〜5回の講座を予定、2月にまとめ) これからのいずみの園を担う皆さんは、真剣な眼差しで、講義を受けています。

(経営企画室)

児童クラブピーター夏休みの様子

子ども達の、まちに待った夏休みがやってきて、炎天下の中、疲れ知らずの子ども達は、汗をかき、キラキラの笑顔で走り回っています。

7月25日(木)にはバスハイクで、宇佐市院内町にある、スカウトハウス「一匹」に行ってみました。竹で水鉄砲を作り、川でおたまじゃくしやさかなとりを楽しみ、お昼はそつめん流しで、お腹いっぱい食べました。疲れ知らずの子どもたちも、さすがに帰りのバスの中で、うとうと・・・(笑)

長い夏休みを楽しく乗りきるために、熱中症対策で、水分補給は勿論、帽子・タオルの着用、15分〜20分おきに室内でクールダウンしながら、夏休みを奮闘しています。

(児童クラブピーター)



合同慰霊盆踊り

8月16日に毎年恒例の上ノ原地区と合同の慰霊盆踊りが開催されました。

日頃制服姿の職員も浴衣を着て参加しました。入居者は日頃と違う姿を見て大変喜ばれていました。夕暮れより太鼓の音、音頭が流れ出しました。

また、途中から新貝中津市長ご夫妻もかけつけて、入所者やマリアガーデン園児に声をかけていただきました。

最初は遠慮がちに小さかった踊りの輪も、徐々に広がって踊っている方などさまざまなお光景が見られました。

踊りの後には抽選会、花火があり、夏の風物詩花火をみて目をきらきらさせ感動していました。

今年も上ノ原地区の共催のもと慰霊祭を無事終えることができました。これからも地域とのつながりを大事に続けていきたいと思えます。ありがとうございました。

(広報委員)

『苦勞の多い時、髪を早く伸ばす(薄くなる)という説も、髪を伸ばしているときに爪が早く伸びる』こと、どうせなら爪の伸び方が早い方がいい？

田中角栄元総理は「世の中の人は苦勞が大仕事というが、出来ればくだらん苦勞はしない方がいい。私は苦勞したがそれが無理にならないような至みがあるんだ。

苦勞は人間を捻じ曲げると云ったが、実感がある。と云ったが、その後の行く途を暗示しているようだ。

メジロも爪が早く伸び、髪は確実に少なくなっている。

それはともかく、メジロは夏の季節に、水浴びをかかさず、5、6年の短い一生を謳歌している。



(盆踊りの様子)



(新貝中津市長と園内保育施設職員)

編/集/後/記

メジロの眼

『苦勞の多い時、髪を早く伸ばす(薄くなる)という説も、髪を伸ばしているときに爪が早く伸びる』こと、どうせなら爪の伸び方が早い方がいい？

田中角栄元総理は「世の中の人は苦勞が大仕事というが、出来ればくだらん苦勞はしない方がいい。私は苦勞したがそれが無理にならないような至みがあるんだ。

苦勞は人間を捻じ曲げると云ったが、実感がある。と云ったが、その後の行く途を暗示しているようだ。

メジロも爪が早く伸び、髪は確実に少なくなっている。

それはともかく、メジロは夏の季節に、水浴びをかかさず、5、6年の短い一生を謳歌している。



中村・宮本・今長・長岡・中村・白石・末延・須崎 (広報委員会全メンバー)

H24年度厚労省「老健事業」として、全国経営協より『介護老人福祉施設の機能強化の方向性に関する実証的研究』が厚生労働省に提出されました。



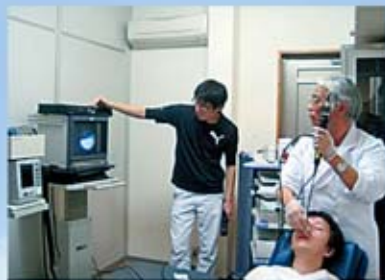
特養事業部部長
谷口 弘美

2012年10月に「いずみの園」がヒヤリング調査を受けた（本誌No.56号2面に既報）平成24年度厚生労働省の老健事業である標記の報告書が、委託を受けた全国社会福祉法人経営者協議会（全国経営協）と略すより、本年4月に厚生労働省に提出されました。

この事業は、介護保険制度の適正な運営等に寄与する調査研究として厚生労働省老健局が毎年、老人保健健康増進等事業（「老健事業」と略す）として公募の結果、要件を満たす団体に委託するものです。

近年、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）において、利用者の重度化もあって「自立支援」、「居宅復帰」を目標とする施設が少なく、また、地域からの孤立、ケア環境レベルを改善する意識が薄れがちで、特養の果たす今日的役割・機能について提言を行うものです。

こうした背景のもと、全国経営協では、厚労省老健事業において全国の介護老人福祉施設（特養）を経営する法人の実例や実態に基づき、介護老人福祉施設が進むべき方向性と介護保険制度のなかで評価する仕組みを研究するため、全国の2,000の特養ヘアアンケートによる実態調査と、全国3施設へのヒヤリング調査を行ったものです。



内視鏡嚥下検査の様子(付設クリニックにて)

当「中津総合ケアセンターいずみの園」は本研究の全国3施設の1つに選ばれ、その結果、いずみの園では「OT・PT・STの常勤専門職によるリハビリの取組」が評価され、①特別養護老人ホームへのリハビリ専門職の配置 ②介護現場におけるリハビリ専門職と介護職による利用者の状態維持・改善の取組 ③現場での挑戦を可能にする組織づくり(理念・方針の明確化からケアの充実)の3点について報告書にまとめられ、提出されました。

今後とも、いずみの園として、社会的要請に柔軟に対応しつつ、特養における良質なケアと快適性さらに地域貢献を重視し、市民の方に支持される特養を目指して努力していきたいと思っています。



高倉PT 濱野OT 岡市ST 岩崎OT(課長)

ご案内

無料シャトルバスを運行しています

いずみの園では、本年4月より無料の循環シャトルバスを運行しています。

毎週、月曜・水曜・金曜にいずみの園を9:30発、11:00発、13:30発、15:00発の1日4回 いずみの園→いずみの森→イオンモール三光→中津駅→ゆめタウン中津→中津市民病院→いずみの園を約1時間で循環しています。

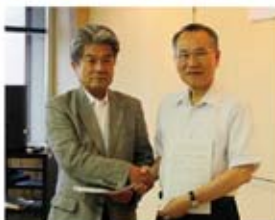
聖愛ホームやいずみの森のご利用者にご利用いただいています。また、いずみの園への面会や見学の際にもご利用いただけます。

下記の電話番号までご予約下さい(ただし、運行時間は1日4回の時間の制約があります)。

いずみの園代表番号
0979-23-1616
管理課まで



福祉避難所協定締結式が行われました。



(経営企画室)

7月1日(月)中津市役所4階研修室において、福祉避難所(災害時における要援護者の受け入れ施設)協定締結式が行われました。

この協定は、災害時には指定避難所への避難が基本となりますが、中津市からの要請により、特別な配慮を必要とする方(災害時要援護者:高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、病弱者等)を、福祉施設で受け入れを行うものです。

今まで中津市は、12施設を福祉避難所に指定していますが、今回新たにいずみの園を含め、社会福祉法人、医療法人の11法人14施設が協定の締結を行い、当法人富永理事長が受託側を代表して、新員中津市長と協定書の取り交わしを行いました。

当法人富永理事長より「南海トラフ巨大地震などの発生に備え、最大限の協力をしたい。」と挨拶があり、新員市長から、「災害時において、このような協力関係が、大きな強みとして発揮されます。快くお引き受け下さりありがとうございます。」との言葉がありました。

予告 創立35周年

第15回 いずみの園フェスタ 開催

日時 **10月19日** 午前10時～午後2時

会場 **いずみの園** 中津市永添2744 (総合グラウンド近く)

イベント盛り沢山

「ニータン」がやってくる!!

- 屋台・バザー・わんぱくコーナー ●もちつき
- 献血車 ●顔写真入りカレンダー作成
- 健康・介護保険相談 ●小笠原古流お茶会

- 琴城流大正琴大分県北部支部琴好会
- 中津市民吹奏楽団
- 大分県系口学園 系口太鼓
- 琉球園祭り太鼓(大分支部)
- よさこい踊り 大分舞華軍団 おかみさんクラブ
- オカリナ同好会トトロ 協賛/中津ライオンズクラブ



介護職員 大分県指定事業 初任者研修

※旧ホームヘルパー2級研修です

どなたでも受講できます

●取得資格: 全課程修了後に筆記試験が行われ、合格者に「介護職員初任者研修修了証明書」が交付されます。

- 研修会場: いずみの園 地域交流ホーム「いずみ館」
- 実施期間: 第3期 平成25年12月17日～平成26年3月5日
- 募集定員: 40名
- 受講費用: 63,700円+テキスト代 6,300円

介護職員初任者研修の資格があれば介護の仕事に就くの有利です。

お申込み・お問い合わせは

中津総合ケアセンター いずみの園 研修センター
☎0979-23-1616 担当: 岩崎、安藤まで

受講者募集中
年3回実施

あなたも介護の
プロになるために
学んでみませんか?



いずみの園だより

編集・発行 社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団 中津総合ケアセンターいずみの園
TEL0979-23-1616
http://www.izuminosono.jp E-mail:sogocare@deluxe.ocn.ne.jp